

地域活性化に 真面目に楽しく取り組むラボ

連携先：岡山県、真庭市湯原振興局、(株)ティーツー



廃校になった小学校に人を呼び込む

人口約470人の真庭市二川地区にある、平成31年に閉校となった旧二川小学校。真庭市が、古本市場を運営する(株)ティーツーから寄贈を受けた10万冊の漫画本を活用しこの廃小学校に「まんが館」をオープンする。本ラボではこれを起爆剤とした地域活性化につなげる施策立案に取り組んだ。10万冊の漫画を活用してマンガ館のPRイベントを開催し、多くの人を二川地区に呼び込むことを目標とし、学生たちはマンガの棚入れから開館へ向けたサポートをし、PRイベントの企画を膨らませていった。

旧二川小学校への訪問や、漫画を寄贈された(株)ティーツーの方より、まんが館開館にかかる地方創生活動の思いや構想について話をうかがうなど、学生たちはマンガ館開館にかかる思いや現地を肌で感じることによってイベントの企画が膨らませていった。企画したイベントは以下の4つ。

- ①10万冊の中から思い出を形に：思い出に残るシーンをプリントした品を自己制作する。
- ②永遠に漫画を読める環境：コロナ渦でのキャンプ人気に着目し、校庭に貼ったでテント内で自由に1日中、思う存分漫画を読む。
- ③非日常のワクワクを感じられる休日登校：宝探しスタンプラリー、ワークショップの実施
- ④縁日×マンガ館：イベントの相次ぐ中止から漫画にまつわる縁日を企画。

プレイベントでは①③を実施した。SNSでの情報発信も意欲的に実施し、真庭市振興局や二川地区住民の告知協力も経て多くの来場者を記録し、たくさんの笑顔を見られ大盛況に終わった。本当にこの地区に人が集まるのか？と懐疑的であった地元の方々もいらっしゃったが、この企画の成功によって地元の方々も地域活性化について強い思いを持ってくれたと実感できた。